

# 「マリン・ハウス」通信

令和7年 8月号



## 皆さんで納涼祭を楽しみました！

8月14日、夏の青空のもと全事業所合同での納涼祭が開催されました。会場は、利用者の皆さんの手作りの飾りで彩られ、お祭りらしい雰囲気になっていました。さらに、フランクフルトや焼きそばなどの飲食ブースのほか、ヨーヨー釣りや輪投げといった多彩な出店も立ち並びました。どの屋台も大人気で、回った皆さんからは笑顔が溢れます。今年は、多くのご家族の方にもお越しいただけたおかげで、昨年とはまた違った賑わいとなりました。

恒例の「大網白里音頭」や「炭坑節」、「ソーラン節」に合わせ、利用者の皆さんと職員が輪になって、踊りを楽しみました。特にソーラン節では、「ソーラン！ソーラン！」の掛け声に合わせて、会場はひととき盛り上がりました。皆さんの笑顔と笑い声が会場中に広がり、夏の素晴らしい思い出となりました。

恒例の「大網白里音頭」や「炭坑節」、「ソーラン節」に合わせ、利用者の皆さんと職員が輪になって、踊りを楽しみました。特にソーラン節では、「ソーラン！ソーラン！」の掛け声に合わせて、会場はひととき盛り上がりました。皆さんの笑顔と笑い声が会場中に広がり、夏の素晴らしい思い出となりました。

皆さんの笑顔と笑い声が会場中に広がり、夏の素晴らしい思い出となりました。



## 「接遇」について学びました

8月18日と19日、職員のスキルアップのための研修が行われました。今回は、大網ロータリークラブの高野様をお招きし、



ビジネスマナーとして「接遇」について講義をしていただきました。「接遇」とは何か、という部分から始まり、その基礎となる5つの原則について、分かりやすい事例を交えお話しいただきました。その上で、場面を想定したロールプレイや、自身の接遇を振り返るワークなども行われ、職員一人ひとりが学びを深め、日々の支援を見直す機会を得ることができました。

## 地元のお祭りに出かけました

フレンス東金、たま工房では、地元東金市が開催する「ヤッサ東金祭」普段は車が行き交う駅前通りも、この日ばかりはたくさんの屋台が連なる歩行者天国となります。たこ焼きや唐揚げ、かき氷など、色々な屋台に目移りしてしまいますが、みなさん財布と相談しながら好みのものを購入して、美味しそうに召し上がっていました。また、ステージでのダンスパフォーマンスなどの様々な催し物も見応えがありました。



夜には、グループホームから花火見学を楽しまれた方もいて、祭りの一日を存分に楽しみました。来年のお祭りも楽しみですね。



夜には、グループホームから花火見学を楽しまれた方もいて、祭りの一日を存分に楽しみました。来年のお祭りも楽しみですね。

## 研修会を主催しました

8月21日に、大網白里市公民館において、マリン・ハウスが初めて主催した外部向け研修会を開催いたしました。

初めて主催する研修会はドキュメンタリー映画の上映会と意見交換会としました。映画のタイトルは「どうすればよかったか?」。映画の内容は割愛させていただきますが、統合失調症をテーマにした本作品は、障害者支援に関わる者なら知らない人はいないほどの話題作でしたが、県内の劇場ではほとんど上映されなかったこともあり、研修には約70名の参加をいただきました。初めての取り組みにもかかわらず、遠路はるばる参加していただきました皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

今後も地域に役立てられる機会を作りたいと思います。よろしくお願いたします。



【お問い合わせ先】  
マリン・ハウス  
千葉県大網白里市南今泉 4832-7



TEL: 0475-77-1066

FAX: 0475-77-1067

MAIL: admin@wako99.com

随時見学・体験相談受け付け中！！

<https://wako99.com/> ←HPでも見られます